

米軍無人機MQ-9の一時展開検討のための
調査について②

令和4年3月
防衛省

MQ-9の一時展開検討にかかる調査の概要

全般日程

① 在日米軍要員による基礎的調査（済）

（3月の細部・専門的調査を効率的に行うため、これに先立ち実施する基礎的調査）

- 2月24日（木）以降：電話による民間業者の方への問い合わせ
（鹿屋外の所属地（横田）から、米軍要員が実施）
- 2月28日（月）～3月4日（金）：現地調査

② 米本国要員の参加を得た細部・専門的調査

- 3月14日（月）～18日（金）：現地調査

※ 以上に加え、追加的調査を行う可能性あり。3月中に調査を終えることを目途として進めていく考え

現地調査の計画内容や調査結果については、米軍及び自衛隊の運用上の理由、民間業者との商取引に関する事項等お示しできないものを除き、ご説明に努めて参ります。

在日米軍要員による基礎的調査の実施状況

● 2月24日以降：電話による民間業者の方への問い合わせ

- 鹿屋外の所属地（横田）から、米軍要員が実施
- 各業者にて取り扱っている商品・サービスの内容や対応可能な規模等の確認

● 2月28日～3月4日：現地調査

① 参加者

- 米側：在日米軍 7名
- 日本側：防衛省本省、海上幕僚監部、九州防衛局 9名
- 本省日米防衛協力課企画官を筆頭とする日米実務者により実施。また、調査初日には、日米防衛協力課長及び在日米軍政策・計画部長も参加

② 調査実施状況

- 基地インフラに関する基礎的な調査
 - ✓ 基地内の施設や設備の状況確認
- 宿泊や食事、車両、洗濯など、活動基盤についての基礎的な調査
 - ✓ 鹿屋市内外の民間業者の方に対する対面、電話及びメールによる確認

米本国要員も加えた細部・専門的調査の概要

● 3月14日～18日：現地調査

① 参加者

- 米側：在日米軍、米本土 最大30名程度
- 日本側：防衛省本省、海上幕僚監部、九州防衛局 最大15名程度
- 本省日米防衛協力課企画官を筆頭とする日米実務者により実施

② 調査内容（民間業者の方への問い合わせや調整を含む）

- 基地インフラに関する細部・専門的調査
 - ✓ 格納庫等施設、電力、航空燃料、通信等
- 飛行場の状況に関する調査
 - ✓ 滑走路、航空機運航に影響する可能性がある野鳥の状況等
- 宿泊、食事、洗濯、医療等、活動基盤に関する細部・専門的調査

新型コロナウイルス感染予防対策

日米の全ての参加要員について、下記の措置を確実に実施

- 日米全ての参加要員は、東京または福岡出発前に検査を受検し陰性を確認
- 日本国外から参加する米軍関係者は、日本の最新の水際対策と整合した在日米軍の措置を実施（出国前72時間以内、入国後24時間以内の検査に加え、必要に応じて3日間の待機及び待機解除のための入国後3日目の検査を実施）
- 東京から鹿屋基地への移動については、自衛隊航空機を使用し、公共交通機関は不使用（九州防衛局からの参加者については、福岡より公用車にて移動）
- 基地内外問わず、調査にあたっては、常時マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、手指消毒を含む感染対策を実施
- 現地調査期間中は基地内に宿泊し、また、基地内で食事
- 基地外での調査時は、自衛隊の専用車両によって移動。必要最小限の人数の参加、短時間の実施にとどめる
- 基地外での調査時及び緊急時を除き基地から外出しない。外出する場合には、日本側要員同行の下行動する
- 現地調査期間中に、米側要員からコロナ感染が疑われる体調不良者が確認された場合、当該体調不良者及びその濃厚接触者は、米軍の輸送手段により鹿屋基地外（米軍施設）に搬送